

2025年JAFカップオールジャパン
サーキットトライアル
スーパーアタック in 筑波

JAF公認・国内競技

特別規則書

公認番号：2025-1402

オーガナイザー
ビクトリーサークルクラブ(VICIC)

更新履歴 2025年2月3日

大会公示

本競技会は、日本自動車連盟（JAF）公認のもと、国際自動車連盟（FIA）のFIA国際モータースポーツ競技規則とその付則、及びそれに準拠した日本自動車連盟（JAF）の国内競技規則とその付則、2024JAF筑波サーキットライアル選手権シリーズ規定、ならびに本大会特別規則書により国内競技として開催される。

第1条 競技会名称

2025年JAFカップオールジャパンサーキットライアル スーパーアタック in 筑波

第2条 開催日程及び主催、後援、協力

日程：2025年3月22日(土)

主催：ビクトリーサークルクラブ（VICIC） クラブ番号 13009

代表 今宮 眞

〒250-0012 神奈川県本町4-3-43

事務局 0550（78）0128

後援：下妻市

(財)日本オートスポーツセンター

筑波サーキット

協力：JMRC関東

第3条 大会組織

| | |
|-------------|---------------------------|
| 大会名誉会長 | 菊池 博 下妻市長 |
| 大会会長 | 石原 壮一 (財)日本オートスポーツセンター理事長 |
| 大会顧問 | 三城 伸之 JMRC関東レース部会 |
| 大会組織委員長 | 今宮 眞 |
| 大会組織委員 | 上川 和宜 |
| 大会組織委員 | 土井 誠 岡山国際サーキット |
| 大会組織委員 | 尾形 知臣 スポーツランド菅生 |
| 大会審査委員長 | JAF任命 |
| 大会審査委員 | JAF任命 |
| 大会審査委員（主催者） | 関根 基司 |
| 競技長 | 朝倉 敬一 |
| 副競技長／コース委員長 | 渡邊 法綱 |
| 計時委員長 | 下浦 道子 |
| 技術委員長 | 米森 博 |
| 救急委員長 | 加藤 猛 |
| 事務局長 | 藤井 穂高 |

その他の競技役員については公式通知にて示す

第4条 競技種目、格式

競技種目：サーキットトライアル

競技格式：国内競技、JAF公認番号 2025年 1402号

第5条 開催場所

筑波サーキット コース2000 (2,045m)

茨城県下妻市村岡乙159

0296 (43) 3146

第6条 参加申込受付期間及び受付方法

1. 参加申込受付期間

2/10~2/28

申込先リンク、またはQRコード

<https://forms.gle/wXFxaJqJoNagAE1BA>



2. 参加台数

最大92台、各クラスの台数により振り分けあり。

参加台数によりクラス混走含み、全体で4枠の走行を設定する。

3. 参加申込方法

右のQRコードよりWEBのフォームに記入して申込し、参加費が振り込まれた順に受理。その後WEBのエントリーリストに掲載。

定員に達し次第、または申込期間をもって受付が終了。

但し、「第7条 参加資格」に該当する者が申込を完了し、入金を確認された際は、それらが優先して受付される。

4. 提出書類

① 参加申込書（参加確認時に提出）

② 車両仕様書（参加確認時に提出）

③ 受理書（参加確認時に提出）

※①②はVICICホームページよりダウンロード

5. 受理または拒否の通知

① 受理書にて通知

② 参加申込期間を経過してからのエントリー取消においては、参加料は返却されないものとする。

第7条 参加車両・クラス区分

参加車両

- 2024年 JAF 国内競技車両規則第3編スピード車両規定に従った車両で、下記の10クラス区分

(JAF 選手権クラスは 9 クラス) に従った車両とする。

過給装置付エンジンはもとの排気量の 1.7 倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の 1.5 倍のクラスとみなす。また性能調整として、シビックタイプ R (EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプ R、S2000、RX-8 は CT3 クラスにのみ参加を認める。

| 区分 | 排気量と駆動方式 |
|-----|---|
| CT1 | 排気量制限無し・駆動制限無しの B 車両 |
| CT2 | 排気量制限無しの 2 輪駆動の B 車両 |
| CT3 | 自然吸気、排気量制限無しの 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両 |
| CT4 | 気筒容積 2400cc 以下の 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両 |
| CT5 | 気筒容積 1600cc 以下の 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両 |
| CT6 | 気筒容積 1500cc 以下の国産車メーカーの B 車両 |
| CT7 | 気筒容積 1500cc 以下の 2 輪駆動の PN 車両のうち、FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2012 年 1 月 1 日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両 |
| CT8 | 国産車メーカーの 5 ナンバーサイズの AE 車両 (ハイブリッド車両もしくは EV 車両) |
| CT9 | 国産車メーカーの SUV タイプの EV 車両 (ハイブリッド車両もしくは EV 車両) |

クラス区分

※各クラス出場車両例

| 区分 | 出場車両例 |
|-----|--|
| CT1 | GR ヲ入 (GXPA16)、スプラ (DB42)、NSX、WRX STI、ギヤランフォルティス、ランサーエボリューション、GT-R、レガリス LFA、レガリス LC500、フェラーリ SF90 ストラダレ、ランボルギーニ レヴェルトウラン、ポルシェ 911 カラ 4、ゴルフ R |
| CT2 | スプラ (B48)、LC500、フェアレディ Z (RZ34)、ウイッツ GRMN、シビックタイプ R (FL5、FK2/FK8)、フェラーリ 296GTB、ポルシェ 911/ケイマン、マクラーレン 720S/750S、ポルシェ・イミラージュ、BMW M4/M2 |
| CT3 | シビックタイプ R (EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプ R、フェアレディ Z (Z34/Z33)、S2000、RX-8 |
| CT4 | GR86 (ZN8)、86 (ZN6)、BRZ (ZC6/ZC8)、スバルスポーツ (ZC33S)、ロードスター - RF (NDERC/NDERE)、ロードスター (NCEC) |
| CT5 | ノート NISMO S (EK12 改)、スバルスポーツ (ZC31S)、ロードスター (NA6CE/NB6C) |
| CT6 | ロードスター (ND5RC/ND5RE)、ヲ入、MAZDA2、デミオ、カプチーノ |
| CT7 | GR ヲ入 (MXPA12)、ホンダ GR スポーツ、ロードスター (ND5RC/ND5RE)、MAZDA2 |

| | |
|-----|---|
| | 15MB (DJLFS) 、マチ NISMO S (K13 改) 、フィット RS (GK5) 、S660、N-ONE |
| CT8 | カリ、アクア、フィット e:HEV、ノート e-POWER、スイフト |
| CT9 | C-HR GR SPORT、ジェイク NISMO RS、フォルスター STI sport、CX30 |

純正装着以外で使用できるタイヤは、4 本とも同銘柄（パターン）で、2024 年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第 2 条 2 に示す基準を満たす、もしくはそれ相応の性能基準とオーガナイザーが判断した銘柄とする。

※主に使用可能なタイヤ

| メーカー | ブランド | タイヤ名称 |
|----------|-----------|---|
| ブリヂストン | POTENZA | RE-71RS/S007A/AdrenalinRE004 |
| 横浜ゴム | ADVAN | NEOVA AD09//NEOVA AD08R/Sport V105/FLEVA V701 |
| 住友ゴム工業 | DIREZZA | α11/ZⅢ/DZ102 |
| 日本グッドイヤー | EAGLE | F1 SUPERSPORTS/RS SPORT S-SPEC |
| トーヨータイヤ | PROXES | R1R/Sports 2 |
| ミシュラン | PILOT | SPORT 4S |
| ピレリ | P ZERO | CORSA/CORSA SYSTEM |
| クムホ | ECSTA | V730/V720/V700 |
| ナンカン | Sportsnex | CR-S/NS-25/NS20 |
| ハンコック | Ventus | RS4 Z232/V12evo2 K120 |
| 柴田自動車 | SHIBATIRE | SHIBATIRE(TW200～) |

※主に使用を禁止するタイヤ

| メーカー | ブランド | タイヤ名称 |
|----------|-----------|---------------------------------|
| ブリヂストン | POTENZA | RE-12D / RE-07D / RE-11S |
| 横浜ゴム | ADVAN | A08B / A052 |
| 住友ゴム工業 | DIREZZA | β02～10 / 03G / 02G / D93J / 94R |
| トーヨータイヤ | PROXES | R888R |
| 日本グッドイヤー | EAGLE | F1 SPORTS / RS SPORT V3 |
| ミシュラン | PILOT | SPORTS CUP / SUPER SPORT |
| ピレリ | P ZERO | TROFEO R |
| クムホ | ECSTA | V710 |
| ナンカン | Sportsnex | AR-1 |
| ハンコック | Ventus | Z214～215 / TD |

2. 参加車両の最低重量は下記の通りとする

- ① CT1～6 クラス/CLOSED 部門は、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kg とする。ただし、同一車両型式に過給器付

(ターボチャージャー、スーパーチャージャー等)と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。

- ② CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付(ターボチャージャー、スーパーチャージャー等)と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

第8条 参加資格

- ① 当該前年度各地区の地方選手権シリーズの各クラス6位までの者。
- ② 組織委員会の選考に基づく者、または有効な2025年JAF国内競技運転者許可証Bクラス以上の所持者。または、JAF以外のASN発給の同様の競技ライセンスを所持し、FIA国際モータースポーツ競技規則に定められた海外レース出場申請が済んでいる者。ただし、前項①.に定めてある参加資格および優先順位を妨げてはならない。

第9条 参加料

36,500円(税込)

第10条 競技方法

練習走行：15分間

一本目：15分間

二本目：15分間

- ① 競技は原則として15分×2ヒートを行う。また競技時間はコースイン開始からチェッカーを振るまでの時間とする。但し、天候等の事情により第1ヒート終了の時点で競技を打ち切る場合がある。
- ② 2) スタート順は、第1ヒートがゼッケンの若い番号順とし、第2ヒートが第1ヒートの順位の上位順を基本とする。但し、スタート開始までのピットエンドへの整列に遅れた車両がいる場合は、この限りでは無い。また、これと異なる方法を採用する場合には、各大会の公式通知によって示される。
- ③ スタート(ランニングスタート)はピットエンドから競技役員の誘導によって1台ずつコースインシラップタイムを計測する。
- ④ 競技中パドックに入った車両は、競技終了の意思を示したものとし、コースへ復帰することはできない。
- ⑤ 当該ヒート終了合図(チェッカーフラッグ)後は、フィニッシュライン付近の止むを得ない場合を除き、追い越しを禁止する。チェッカーフラッグを受けた場合には速やかにパドックへ戻らなければならない。
- ⑥ 万一、チェッカーフラッグが不注意その他の理由により規定時間を完了する前に表示された場合でも、競技はその時点で終了したものとみなされる。

競技の成立

各競技において各部門各クラス5台以上の出走を以って成立する。

第11条 旗信号の説明

1. 競技会で使用する信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則H項および補助信号機によって行う。

| 旗の種類 | 指示内容 |
|---------------|---|
| 赤旗 | 競技の中止。 ドライバーは直ちに速度を落としピットレーンに進行する事。必要に応じ停車できる態勢を取ること。追い越しは禁止となる。 |
| 黄旗 | コース上に危険箇所ある場合に振動。 徐行となり、追い越し禁止。2本振動の場合には、必要に応じて停車できる態勢をとること。 |
| 緑旗 | 黄旗区間の解除。 |
| 赤の縦縞のある黄旗 | コース上に、オイル漏れ等、滑りやすい箇所があることを示す。 |
| 白旗 | トラック区間に低速走行車両がある。 |
| 青旗 | 他の競技車両が追い越しを行おうとしている。 |
| 黒旗 | 指示を受けた場合は次の周回時にピットの指定された場所に停止する。 |
| オレンジ色の円形のある黒旗 | 車両に機械的欠陥が生じている。 指示を受けたドライバーは、次の周回時に自己のピットに停止すること。 |
| 黒と白色のチェッカー旗 | 競技の終了。 |

2. 信号合図に従わない場合は罰則が適用され、この判定に対する抗議は受け付けられない。

第12条 賞典

J A Fカップオールジャパンサーキットトライアルの各クラスで1位となった者に対し、J A Fカップを授与し、また2位～6位となった者に対し賞典を与える。

第13条 賞典の制限

2025JAF筑波サーキットトライアル選手権シリーズ規定に準ずる。

第14条 抗議

1. 参加者は、主催者、役員、他の参加者、運転者、または競技 会関係者の決定、行為あるいは過誤によって、不当に処遇されていると判断した場合は、これに対して抗議する権利を有する。ただし審判員の判定に対する抗議は受け付けられない。
2. 抗議は抗議申請書に、抗議の趣旨および理由を記載し、抗議対象1 件につき抗議料20,900円を添えて競技長に提出しなければならない。抗議が正当と裁定された場合のみ抗議料は返還される。

3. 参加車両に対する抗議は、抗議対象となる箇所を具体的に抗議申請書に記載しなければならない。抗議によって必要となった車両の分解に要した費用は、その抗議が否決された場合には抗議提出者、抗議が成立した場合は抗議対象者が支払うものとする。

第15条 本規則の補足

本競技会の競技運営に関する規則は、「2025筑波サーキット一般競技規則書」を適用する。

第16条 公式通知

本規則に記載されていない競技運営に関する内容および参加者への指示事項は、公式通知によって示される。公式通知はVICICウェブサイトよりグーグルドライブにアクセスして確認すること。

第17条 本規則の違反

本規則に対する違反の罰則宣告は審査委員会が行い、訓戒、罰金、タイムの加算、タイム抹消、出場停止、失格等がその違反の軽重に応じて適用される。

第18条 本規則の施行

本規則は、2025年2月1日から施行する。

以上